

軒天・天井用アクリルシリコン樹脂エマルジョン塗料

ミスター

Mr.テンジョー



JQA-2631 (合成樹脂塗料)
JQA-EM3548 (本社工場)

(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	M03098
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.toryo.or.jp



用途 軒天・上げ裏に最適な水系の専用仕上塗料

- 特長**
- 耐久性** 自己架橋型アクリルシリコン樹脂が優れた耐久性を発揮します。
 - 透湿性** 塗膜の膨れや剥がれの原因である躯体内部の水分を放散します。
 - 安全性** 水系塗料なので環境にやさしく、安全で溶剤臭もありません。
 - 付着性** シーラーレスでも旧塗膜に対して優れた付着性を発揮します。
 - 微弾性** 躯体のヘアークラックに追従します。



適合旧塗膜

アクリルリシン
合成樹脂エマルジョンペイント

適合素材

打放しコンクリート・セメントモルタル
プレキャストコンクリート部材
珪酸カルシウム板(珪カル板)

Mr.テンジョー

塗装仕様

アクリルリシン、合成樹脂エマルジョンペイント面

工程	使用塗料	希釈割合 (清水)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。 旧塗膜が剥がれている場合は、ナノコンポジットシーラーIIを塗装してから、上塗りを塗装してください。								
上塗り	Mr.テンジョー 20kg	1~2kg	ハケ ローラー	2	0.25~0.4	25~40	2h以上	—	24h以上

※塗付量に清水は含まれていません。
※塗付量は条件(旧塗膜の劣化状況、旧塗膜のテクスチャーパターン等)により増減します。
※脆弱で吸い込みが激しい、又は巣穴が多い下地の場合には、上塗り施工前にナノコンポジットシーラーIIを塗装してください。
※万能ガン(口径3.5~5.0mm推奨)による塗装も可能です。その場合は当社営業担当者までご相談ください。

開放しコンクリート・セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、珪酸カルシウム板

工程	使用塗料	希釈割合 (清水)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /セット)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	ナノコンポジットシーラーII 15kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.10~0.20	75~150	—	2h以上	—
上塗り	Mr.テンジョー 20kg	1~2kg	ハケ ローラー	2	0.25~0.4	25~40	2h以上	—	24h以上

※塗付量に清水は含まれていません。
※塗付量は条件(旧塗膜の劣化状況、旧塗膜のテクスチャーパターン等)により増減します。
※万能ガン(口径3.5~5.0mm推奨)による塗装も可能です。その場合は当社営業担当者までご相談ください。

色

白、淡・中彩色(調色対応致します。)

荷姿

Mr.テンジョー.....20kg(石油缶入り)
ナノコンポジットシーラーII.....15kg

注意事項

■仕様全般

- 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
- 塗装後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装してください。
- 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠べい力不足・仕上がり不良等につながりますので注意してください。
- 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
- ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なる為に若干の色相差がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。
- 塗装中に塗料を開放して放置しますと上乾きすることがありますので注意してください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
- 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
- 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
- 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
- シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがある為、基本的には行わないでください。
やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ず、ノンブリードタイプを使用してください。
- 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものを使用してください。
- 塗装による臭気等、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

■塗料に関する注意

- 使用前には十分攪拌してください。
- 小分けする場合は、十分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いの原因となります。
- 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
- 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
- 排水溝には捨てないでください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
- 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 ☎06(6391)3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・北海道

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。